

平成 31 (2019) 年度例題：高校卒程度／教養（事務・消防士）

〔例題 1〕 我が国の司法制度に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 裁判所は、民事上の争いや犯罪について裁くが、行政の措置に対する不服については、行政機関に設けられた行政裁判所が終審に至るまで裁判を行う。
2. 裁判の公正を保ち国民の司法への信頼を得るため、裁判は公開が原則とされており、国民に裁判の傍聴の自由が認められている。
3. 国民が司法に参加する制度として裁判員制度が導入されたが、これは犯罪事実の認定については裁判官が加わず裁判員のみで有罪・無罪の決定を行う制度である。
4. 裁判官には職権の独立が認められているが、国会に設置される弾劾裁判所の裁判によって、裁判所が行った事実認定や量刑が覆されることもある。
5. 裁判所は、ある法律に関連した具体的な事件が起きていなくても、その法律が憲法に違反するかどうかについて審査することができる。

〔正答 2〕

〔例題2〕 地球の衛星である月に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 月の大きさは、太陽よりも小さく地球とほぼ同じである。地球から月と太陽がほぼ同じ大きさに見えるのは、月が太陽よりも地球との距離が近いためである。
2. 月面には、クレーターと呼ばれるくぼ地がある。月のクレーターには液体の水があることが確認されている。
3. ある日の午後9時に月が真南に見えた。1週間後の同じ時刻に月を見ると、より西側に見えた。
4. 月食は、太陽、地球、月の順に一直線に並ぶとき、月の全体又は一部が地球の影に入る現象である。
5. 月の引力などの影響により、地球の海洋での満潮と干潮は、一般に1週間に1度の周期で起こる。

〔正答4〕

〔例題3〕 ある工場にはネジを作るA～Cの3種類の機械がある。この工場では、ある本数のネジを作ることになった。目標の本数のネジを作るのに、機械Aのみでは5時間かかり、機械Bのみでは6時間かかる。機械Aと機械Bの2台を同時に使ってネジを作り始めたところ、2時間たったときに2台とも壊れてネジが作れなくなった。その後、機械Cのみを4時間使って目標の本数を作り終えることができた。目標の本数を機械Cのみを使って作るとすると何時間かかるか。

1. 9時間
2. 12時間
3. 15時間
4. 18時間
5. 21時間

〔正答3〕